



江別のみなさん、こんにちは。
2月です。
一年で一番寒いと言われる月ですが、
これを乗り切れば春もグンと近づきます。
体調管理に十分気を付けて、
免疫力を高めていきましょう！

東京防災へ



防災準備を
始めましょ
う！！

代表取締役社長 石崎 昭仁

こどもエコすまい支援事業

記載内容について、また各省庁の対応について、変更になる
事があります。予めご了承ください。

先月号でZEH住宅など高断熱な創エネ住まいについて記載しました。昨年の11月8日に閣議決定されたこどもエコすまい支援事業もこの流れに沿った内容になっています。今まで長期優良住宅など高品質な住宅に補助金が出ていましたが、今回はさらにその上をゆくZEH住宅等も対象になり、令和4年10月1日以降の新基準で認定申請され、11月8日以降に対象工事への着手をした認定長期優良住宅、認定低炭素住宅等も含まれています。リフォームなどは内容が若干変更になっている様ですが、子育て支援を含むリフォームも対象になっています。12月中旬に、事務局が立ち上がりました。対象商品の申請認可などがあり詳細は不明ですが、こどもみらい住宅支援事業に沿った内容になると思われます。ただ以前は省エネ性能等級4は補助金の対象になっていましたが、今回の支援事業は対象から外されました。国は住宅部門の省エネルギー推進を、省庁をまたぎ事業費補助金(経済産業省・環境省・国土交通省)とのワンストップ対応を実施するあたりをみると、住宅の省エネ化を本気で取り組んでいる事が見えます。ぜひ今回の補助金をうまく活用される事をお勧めいたします。

温度差の少ない環境



こどもエコすまい支援事業の概要

出典:国土交通省
※青字下線部が主な変更点
令和4年度補正予算:1500億円

1 制度の目的

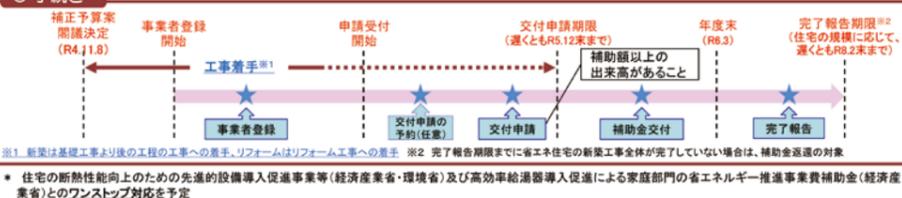
エネルギー価格高騰の影響を受けやすい子育て世帯・若者夫婦世帯による高い省エネ性能(ZEHレベル)を有する新築住宅の取得や、住宅の省エネ改修等に対して支援することにより、子育て世帯・若者夫婦世帯等による省エネ投資の下支えを行い、2050年カーボンニュートラルの実現を図る。

2 補助対象

高い省エネ性能を有する住宅の新築、一定のリフォームが対象(事業者が申請)
※補正予算案閣議決定日(令和4年11月8日)以降に、新築は基礎工事より後の工程の工事に、リフォームはリフォーム工事に着手したものに限り(交付申請までに事業者登録が必要)。

子育て世帯・若者夫婦世帯による住宅の新築		住宅のリフォーム*	
対象住宅	補助額	対象工事	補助額
OZEH住宅 (省エネ基準かつ再エネを除く一次エネルギー消費量▲20%に適合するもの) ※対象となる住宅の延べ面積は、50㎡以上とする。 ※土砂災害特別警戒区域に所在する住宅は原則除外とする。 ※「土地適正化計画区域内の居住区域外かつ防災利便ゾーン(災害危険区域、準一防火区域、土砂災害特別警戒区域、全線制振動低減区域又は洪水災害警戒区域)内に建設されたものうち、30㎡以上の敷地又は1戸あたり120㎡以上の敷地を有するもので、都市再生特別措置法に基づき指定を補正なものとするために行われた市町村長の勧告に従った旨の公表に係る住宅は除外とする。	100万円/戸	①住宅の省エネ改修 ②住宅の子育て対応改修、バリアフリー改修、空気清浄機能・換気機能付きエアコン設置工事等(①の工事を行った場合に限り)	リフォーム工事内容に応じて定める額 上限30万円/戸*

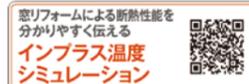
3 手続き



今回の補助金ですが、3省合同と言う、今までにない仕組みが取られていることに注目です。リフォームの断熱などはこどもエコすまいを使用し、窓リフォームなどは経産省が主導する補助金を使用することにより補助額がアップする様です。細かい取り決めがありますので詳細は事務局までお問い合わせ頂くか、弊社までお問い合わせください。

3省合同の補助金

住宅の高断熱化に役立つ内窓の取り付けがオススメ。内窓取り付けの効果がわかります。



経産省・環境省 補助金

経産省 補助金

国土交通省 補助金

こどもエコすまい

申請窓口(予定):
こどもエコすまい
支援事業

住宅の省エネルギーへの支援の強化

目的

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて家庭部門の省エネを強力に推進するため、住宅の断熱性の向上に資する改修や高効率給湯器の導入などの住宅省エネ化への支援を強化する必要がある。
国土交通省、経済産業省及び環境省は、住宅の省エネルギーを支援する新たな補助制度を創設するとともに、3省の連携により、各事業をワンストップで利用可能(併用可)とする。

対象

工事内容	補助対象	補助額
先進的な窓リノベ 1)高断熱窓の設置 ※1 窓のリフォームは環境省の補助金を使うことをお勧めします。	高性能の断熱窓(熱貫流率(Uw値)1.9以下等、建材トップランナー制度2030年目標水準値を超えるもの等、一定の基準を満たすもの)	リフォーム工事内容に応じて定める額 上限200万円/戸
①省エネ改修 2)高効率給湯器の設置 ※2	高効率給湯器((a)家庭用燃料電池、(b)ヒートポンプ給湯機、(c)ハイブリッド給湯機)	定額 (a)15万、(b)(c)5万円
3)開口部・躯体等の省エネ改修工事 ※3	開口部・躯体等の一定の断熱改修、エコ住宅設備(節湯水栓、高断熱浴槽等)の設置	リフォーム工事内容に応じて定める額 上限30万円/戸*
②その他のリフォーム工事 ※3 (①1~③のいずれかの工事を行った場合に限り)	住宅の子育て対応改修、バリアフリー改修、空気清浄機能・換気機能付きエアコン設置工事等	*子育て世帯・若者夫婦世帯は、上限45万円/戸(既存住宅購入を伴う場合は60万円/戸) *安心R住宅の購入を伴う場合は、上限45万円/戸

※1 住宅の断熱性能向上のための先進的設備導入促進事業等(経済産業省・環境省)による支援
※2 高効率給湯器導入促進による家庭部門の省エネルギー推進事業費補助金(経済産業省)による支援
※3 こどもエコすまい支援事業(国土交通省)による支援
出典:国土交通省

上記の表が国土交通省より発表された資料です。ここで注目は高断熱窓の設置です。各窓の性能、大きさにより補助金額が決まっています。性能の高い窓には多くの補助金が出る様な仕組みになっています。今回はリフォームでも魅力的な内容です。しかし色々と申請、利用額など複雑な面もありますので、注意が必要です。各省庁をまたぎ補助金が制定されていますので、12月末段階では完全に内容が確定していません。確定次第HPに記載いたします。 住宅省エネ2023キャンペーン 最新情報へ⇒

土地のご紹介!

shineidai グリーンタウン新栄台

●所在地:江別市新栄台 51 番地の 2~ ●その他:建築条件付き

■近隣施設 ■■■■

食料品:コープさっぽろ 1.6Km / イオン 2.3Km

日用品:DCMホームマック 1.6Km

学校:小学校:対雁小学校 1.5Km / 中学校:中央中学校 0.9Km

病院:友愛記念病院 0.43Km / 公的機関:江別市役所 2.7Km

その他:見晴台郵便局 1.5Km

交通:JR野幌駅 2.9Km / バス停(中央バス):新栄台 0.4Km

